

一般質問

町民の声を代表して 9人が質問

議会には、議員が、町長や教育長に対し、町の仕事の状況や、将来の方針などを質問する一般質問があります。
今回の議会では、9人の議員が、皆さんの声を代表して熱弁を振るいました。

一般質問

危機管理・災害対策



原田 健志

問 体制は十分か。

答 人員等は府内で消防業務委託している町村も本町と同程度規模の人員で担当されている。

十分か、の判断は非常に難しいが、能勢町の総職員数を考慮した場合、妥当な体制と考える。

問 災害対応の考え方は。

答 早期に警戒態勢を整え、被害軽減に努める。

町、豊中市北消防署能勢町分署、町消防団の連携をさらに強化し、住民が安心して暮らせる体制構築に努力を続ける。

また、自治区等の自主防災機能の強化や防災関係機関との連携により減災に努めることが重要と認識している。

一、危機管理・災害対策 二、教育の展望

問 委託後の救急対応は。

答 2隊体制となり、現場における救助工作車等の連携、複雑・多様化する救急事案への対応も迅速である。

問 地域の消防防災施設等に対する費用負担についての考え方は。

答 現在は、防火水槽の補修、消防ポンプ車両の支給、維持管理費の一部負担を行っている。消火栓のホース等は協働事業交付金で購入いただいている。

自らの地域は自らで守るという精神に基づき、地域負担していただいていた。町財政の状況を地域の方々にご理解いただきながら災害対策を進めていく。

教育の展望

問 高等教育との連携、継続は必須と考えるが、小中高一貫教育の将来性も含め、どのように考えているか。

答 小・中学校間は施設一体型になり、9年間連続した教育がスムーズに展開できると考える。

能勢高校ともしっかりとつながり、次代を担う能勢の子供たちの育成に向け、教育内容も含め、より積極的に連携し、小中高一貫教育をさらに効果のある内容にしていく。

